

「ふれあい活動」

～ときわ学園の仲間を訪問して～

森 脇 良 明

4月8日（土）真田・森脇の2名は、笠岡市内の「ときわ学園」で催されたお花見に、瀬尾美枝子さんを訪問しました。ときわ学園に到着すると、瀬尾さんのお兄さんご夫妻はすでに来られていて、保護者会に出席されていました。

当日はあいにく小雨で、花見の会は室内の娯楽室で催されるということから少し残念でしたが、瀬尾さんの部屋を見せてもらって、会場をたずねました。

会場では地元のバンド「オールウエイズ」の演奏が始まっていて、何人かはバンドの前でマイクを持って歌っていました。旭川荘厚生専門学院の学生さんがボランティアで6名参加されており、ひらがなで書かれた歌詞を大きなパネルに掲出し、皆で歌えるよう配慮していました。瀬尾さんは椅子にすわって聞いていましたが、最後の曲「きみの瞳は100マンボルト」になると立ち上がり前に出て、ボランティアの学生さんと一緒に大きな口を開けて歌いました。その後の催しでは、内海夫妻の手品で笑い、ハーブ演奏では感銘を受けました。

今回、昼食を瀬尾さん（入所者）は別の場所で済ませ、食事後食堂で一緒に過ごしました。瀬尾さんは、あま酒、コーヒー、ケーキ、ホットドックと次々たいらげ食欲おうせいでした。それを見ていたお兄さんが「おまえよお食うなあ」と言うと、瀬尾さんは少しはにかみ「うん！うん！」と返事しましたが、その会話がこっけいで笑ってしまいました。久しぶりに会えて食欲が進んだのでしょう。

桜はちょうど見ごろにもかかわらず、雨天ですこし残念でしたが、「一緒にカラオケに行った人は？」と仲間を気づかう瀬尾さんのやさしい心に浸れ、またみんなと会えて、楽しい時間を過ごせました。今回も瀬尾さんのお兄さんご夫妻にはたいへんお世話になりました。「ありがとうございます。」

